平成28年度 第3回奈良県・市町村長サミット

(仮称)安全・安心の確保のための 奈良県基本計画について

平成28年11月28日(月)

警察本部 総合企画課長 島 中 誠 総務部 安全・安心まちづくり推進課長 森 田 圭 一

安全・安心を脅かす事象

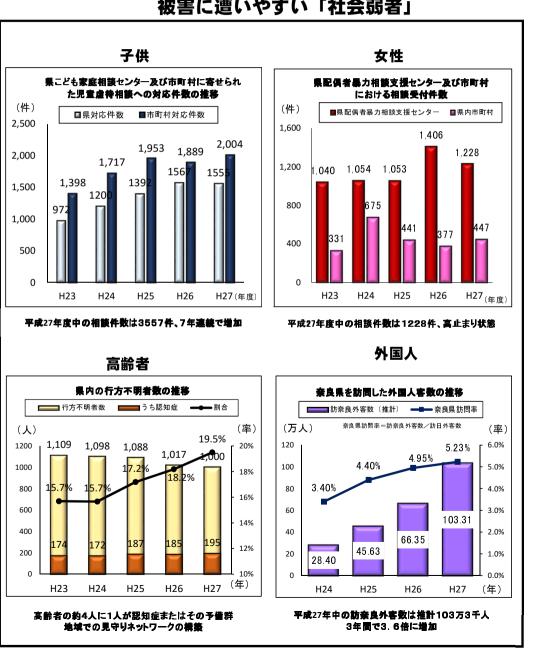
刑法犯認知件数は「治安が危険水域にある」と表現された平成14年と比べ3分の1にまで減少 平成14年 32,017件 〈 平成27年10,036件 犯罪の総量抑止という意味では飛躍的に安全水準が高まっている

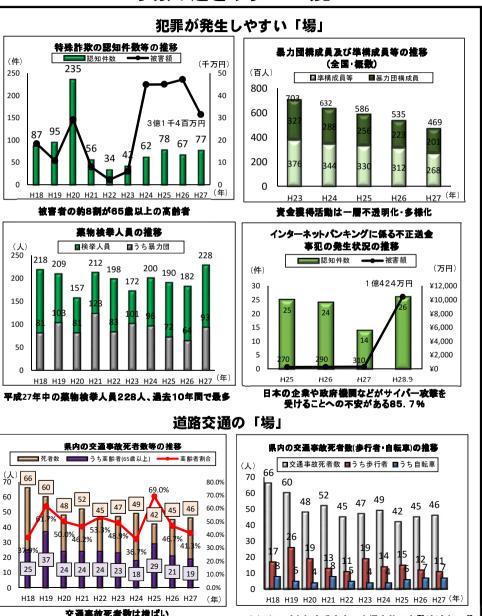
■しかしながら、県民の安全・安心を脅かす事象は・・・・

高齢者の占める割合は高水準、41.3%(平成27年中)

被害に遭いやすい「社会弱者」

事象の起きやすい「場」





歩行中**及び自転車乗車中の交通事故死者数は減少せず**

「基本計画」のコンセプト

キーワード01

「選択」と「集中」

奈良県が行うべき、各種分野の安全・安心の確保の中でも、「犯罪抑止」と「交通事故防止」の大綱となる中・長期的な計画とする

課題

- ✓ 安全と安心の乖離
- ✓ 安全・安心を脅かす事象「質」 の変化
- ✓ 対症療法的な対策では不十分

キーワード04

「分析」と「行動指標の設定」

刑法犯認知件数の減少のみを「安全の指標」とするのではなく、犯罪、交通事故分析を綿密に行い、その結果を踏まえた施策を行動指標により、進捗管理する



キーワード02

「住民参加」と「多様な主体の連携」

県・警察だけでなく、地域住民や 自治体事業者等、社会を構成する 多様な主体の活動に資する計画と することから、議会報告やパブリックコメントを経て策定する



- > 対策全般を捉え
- > 基本理念・方針を示し
- > 各主体の役割や責任 の範囲を明らかにする

キーワード05

「事前・事後」と「ソフト・ハード」

盛り込むべき施策は、事態対処に加え、事前(犯罪予防の対策)と事後(被害回復・再発防止の対策)、ソフト(人づくり)とハード(地域・環境づくり)を組み合わせて効果的に活用する

キーワード03

「自律」と「責任の明確化」

県と警察とが、役割や責任の所在を明らかにした上で、それぞれが「責任ある主体」として連携する

県と警察との一層の連携 持続的に安全・安心の施策を展開 体系的・計画的に治安基盤を整備 キーワード06

「PDCAサイクル」と「持続可能性」

治安はインフラであり、継続的、 計画的な取組が不可欠。情勢の変 化に応じて適切に改善・向上を図 るため、効果検証を行い、PDCA サイクルにより推進する



日本一安全で安心して暮らせる奈良の実現